

モ ノ づくりの 美学

PHOTO: 藤田昌久



APP 4POT BRAKE CALIPER KIT For DC5

づけ、トライ&エラーの末にようやく製品化にこぎつけた新たなブレーキデバイス、それがここで紹介するDC5用4ポットブレーキキャリパーキットだ。

「スフィードはイイ例ですが、近年はいかにローコストでブレーキチューニングを楽しんでいたかが、APPのパーツ開発におけるテーマになっています。今回デビューさせるDC5用キャリパーキットも、まさに

その流れを汲んで誕生した製品といえますね」とはAPP安田サン。つづけて「DC5には純正でブレンボ4ポットキャリパーが装備されているんですが、とにかく問題が多い。構造上の問題から起こるオイル漏れやボデイの開きなどですね。そうしたブ

レーキトラブルに悩む本気系のDC5ユーザー様たちから、代替品のような位置づけの格安キャリパーを出してくれという声が多く寄せられてまして…。

つまり、APPが満を持して送り出すDC5用キャリパーキットは、ユーザーニーズから生まれた逸品というわけだ。製品の主だった特徴を列記しておく。

- ① 純正ローター&純正ホイール&純正マスターバック対応
 - ② 高剛性アルミ鍛造ボデイ採用
 - ③ キット価格が新品の純正キャリパーより安い
 - ④ 付属ブレーキパッドは特性のちがう3種類のなかからえらべる
- となる。なかでも特出すべきは③。新品の純正キャリパーを部販で購入するばあい、片側約10万円だ。つまりフロント両側だと20万円ちかくかかってしまうことになる。だからといって、アフターのキャリパーキットに手

ユーザーニーズから 生まれたキャリパーキット

ブレーキに特化したチューニングパーツメーカーとして、独自の路線を歩むAPP(アビエイションパフォーマンス・プロダクツ)。高性能ながら、おどろくほどのロープライス(なんと5000円!)を実現したブレーキパッドシリーズ『スフィード』や、虹色に輝くチタンカラーのマルチポットキャリパーなどの生みの親…といえ、わかってもらえるだろう。

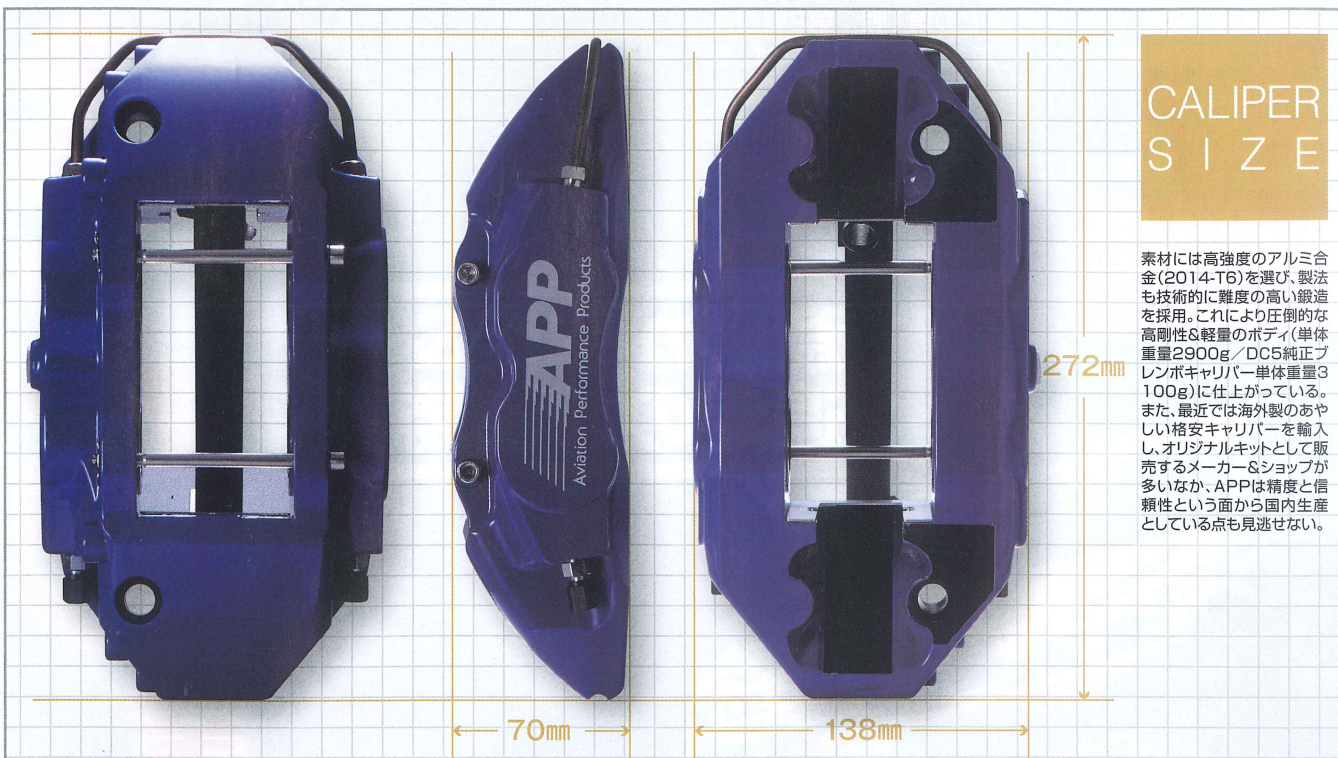
そんな当社が水面下で開発をつ

高品質、低価格。



価格: 17万6400円
対応: DC5
発売時期: 7月上旬
エーピーピー ☎042-513-3307
<http://www.app-top.jp/>

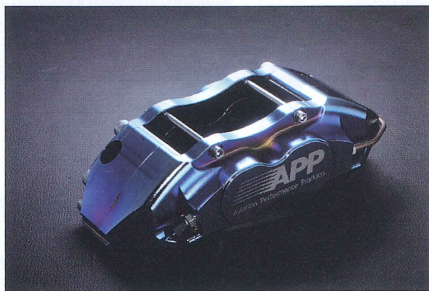
CALIPER SIZE



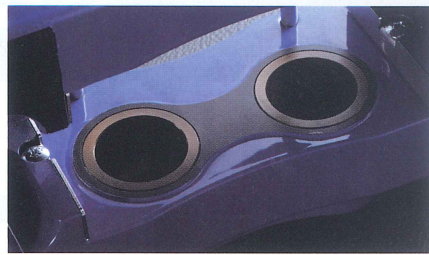
素材には高強度のアルミ合金(2014-T6)を選び、製法も技術的に難度の高い鍛造を採用。これにより圧倒的な高剛性&軽量のボディ(単体重量2900g/DC5純正ブレンボキャリパー単体重量3100g)に仕上がっている。また、最近では海外製のあやしい格安キャリパーを輸入し、オリジナルキットとして販売するメーカー&ショップが多いなか、APPは精度と信頼性という面から国内生産としている点も見逃せない。



ナックルとブレーキキャリパーの間にかませる専用ブラケットはアルマイト処理がほどこされたジュラルミン製だ。強力な制動力にも耐えうる強度と、軽さ(単体重量300g)を両立している。



キット標準のブレーキキャリパーはブルーカラーだが、プラス2万円ですていしいヒートグラデーションが施されたチタンカラー(限定)を選択することも可能だ。



ピストン径は38φの同径タイプ。ピストンエリアは45.34cm²となり、純正ブレンボ(45.47cm²)とほぼ同等の数値を保持している。これにより、違和感のないベダルストロークと操作性を実現したのだ。もちろん、ストリートでの使い勝手を考慮し、各ピストンにはダストシールが装備される。

セール期間中でさらに爆安!! SFIDAブレーキパッド

人気爆発中のSFIDAが、期間限定で前後セットの大幅な値下げを敢行した。対象となる製品は、ストリート向けのAP8000(材質:ノンアスベスト/対応温度:0~500℃/摩擦係数:0.30~0.41μ)と、スポーツ走行向けのKG1115(材質:カーボンメタル/対応温度:50~800℃/摩擦係数:0.40~0.50μ)。プライスはAP8000が通常セット価格1万6800円のところ1万4700円、KG1115が通常セット価格3万1500円のところ2万8350円と、どちらも2000円以上の割引!! 期間は7月31日までなので、ブレーキパッドの購入を考えているユーザーは、このタイミングを逃す手はないだろう。



※写真はSFIDA AP8000。なお、AP5000は今キャンペーン対象外となる。



これはDC5の純正ブレンボ。サーキットなどで限界走行を連発するとキャリパー開き(ゆがみ)が発生するほど強度は低いという。ダストシールなどからのフルード漏れならオーバーホールで修復可能だが、キャリパーが開いてしまうとどうしようもない。そのままにしておくと、キャリパー分割部からフルードが噴き出す事態にまで発展しかねないので要注意だ。



キット付属のブレーキパッドは3種のなかから自由に選ぶことが可能。ストリート向けのタイプSA(白/摩擦係数0.32~0.45μ/対応温度0~500℃)、ストリート~サーキット向けのタイプSR(青/摩擦係数0.38~0.62μ/対応温度0~800℃)、タイムアタック専用のタイプRA(黄/摩擦係数0.42~0.59μ/対応温度200~800℃)だ。

APPでは今回のDC5用を皮切りに、同コンセプトの車種別キャリパーキットを展開していく構想もあるそうだから注目したい。

もちろん性能面に関しても妥協はなく、レースシーンで培った技術と独自のプロダクトテクノロジーにより、剛性やストップピングパワーなどキャリパーに求められる基本スペックはすべて純正ブレンボを上まわるレベルを実現。さらにピストンエリア(ピストン面積の総和)を純正にちかづけ、純正マスターバックのままでもベダルストロークが深くならないようにするなど細かな配慮も満載。DC5ユーザーにとっては、まさに願ったりかなったりの製品の登場といえるだろう。

を伸ばそうと思っても、市場ではインチャップを前提とした高価なビッグローター込みのフルキットばかり。いつぼうのAPP製キットは、純正ローター&純正ホイール対応としてお手軽感を前面に押し出した上で、プライスを純正以下の約17万円に設定。そう、高性能キャリパーをユーザーの手に届きやすい位置までおろしたのである。